

地域医療 連携室だより

No. 24

2026年4月発行

社会医療法人みゆき会

みゆき会病院
Cure & Care

回復期リハビリ病棟の紹介

リハビリセンター 副センター長 清水 学

回復期リハビリテーション病棟は、平成12年に医療保険制度として新設されました。みゆき会病院回復期リハ病棟の開設は平成14年。山形・上市市内では最初に開設しました。今回はQ & A形式で当院の回復期リハ病棟の紹介を行います。

Q 看護師やリハビリスタッフの人数は？

A 看護師22人、理学療法士16人、作業療法士14人、言語聴覚士4人、医療福祉相談員3人、管理栄養士1人が従事しています。各職種の人員配置や、リハビリの高い実績が求められる「入院料1」を取得しています。

Q どんな方が入院しているのですか？

A 令和7年4月1日～12月31日に206名の方が入院されました。疾患別や男女比、年代別は図のとおりです。また、日常生活に多くの介助を要する重症患者の割合は49.5%（入院料1の基準は40%）。病院の特性上、70～80歳代の運動器疾患の方が多いですが、通年脳血管疾患の方も20%前後いらっしゃいます。

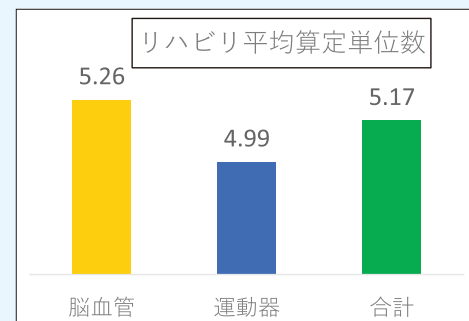
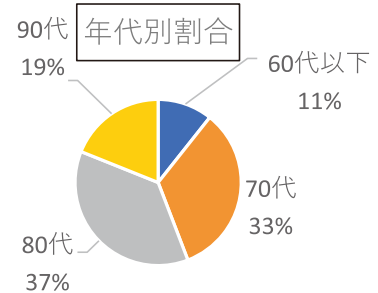
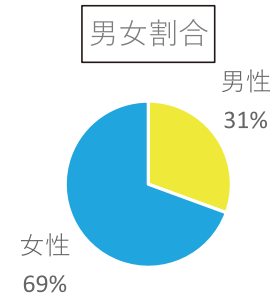
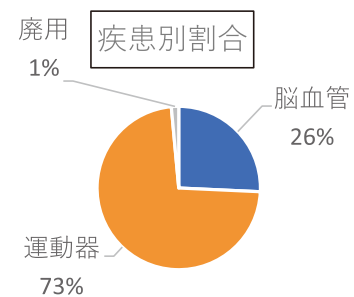
Q 1日どれくらいリハビリを行うのですか？

A リハビリは1単位20分を基本単位とします。当病棟での実施状況は図の通りです。

概ね、平日は脳血管疾患の方は7～9単位、運動器疾患の方は3～6単位、土日は3～6単位を基本とし、365日休みなくリハビリを実施しています。

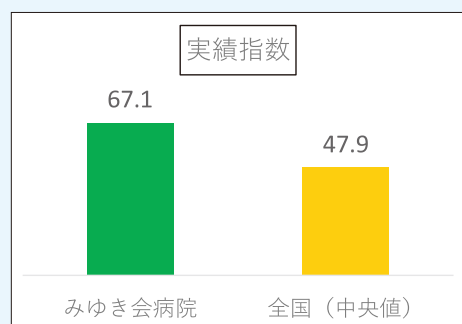
Q リハビリの効果は？

A リハビリの効果を示す数値として「実績指数」があります。この実績指数は、入院期間中に日常生活動作能力が向上し、かつ入院期間が短いと高値となります。細かい



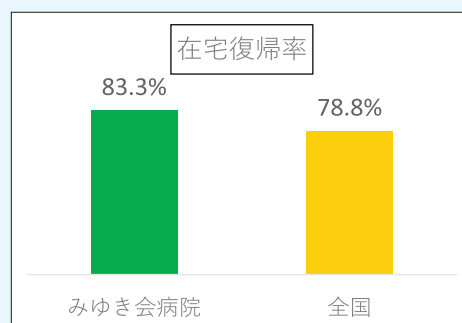
計算方法は割愛しますが、「入院料1」を算定している回復期リハ病棟では、この実績指数が「40以上」であることが必要です。

当病棟の実績指数は67.1。入院料1の基準の40、全国のリハビリ病棟の中央値47.9を大きく上回っています。多くの方が、短い入院期間でリハビリの高い効果を得た結果です。



Q 退院後の生活は？

A 自宅等に退院した「在宅復帰率」は83.3%。全国の78.8%を上回る結果となっています。退院時には必ず「退院時リハビリテーション説明会」を実施し、患者様・ご家族に退院後の生活についてアドバイスを行っています。



今後とも、みゆきの丘・かみのやま訪問看護ステーションなど法人内の施設とも連携を図り、患者様・ご家族のニーズが達成できるように支援してまいります。

参考：2025年度回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書

みゆき会病院関連施設のご紹介（上山市内事業所）

当院では理念である『みゆき会は各世代への「専門的医療サービス」とニーズに即した「高度な介護サービス」によって地域の持続的な発展を支えます』をモットーとして、退院後も在宅生活を切れ目なく支えることができるよう、各種サービスを展開しています。お困りの際はぜひご相談ください。

●介護老人保健施設みゆきの丘

2番街（入所サービス一般棟、53床）

3番街（入所サービス認知症専門棟、47床）

通所リハビリテーション（一日あたりの定員40名）

●指定短期入所生活介護事業所 みゆきの丘（ショートステイ、50床）

●短期入所療養介護 みゆきの丘（ショートステイ）

●通所リハビリテーション事業所あかね（一日あたりの定員40名）

●認知症対応型通所介護 みゆきの園（一日あたりの定員12名）

●認知症対応型共同生活介護 グループホーム笑顔（1ユニット9名×2ユニット）

●訪問介護事業所 みゆきヘルパーステーション

●通所介護 みゆきデイサービス金生（一日あたりの定員25名）

●居宅介護支援事業所ケアサポート蔵王

●サービス付き高齢者向け住宅 ミユキハイム河崎（15室）

●高齢者向け賃貸住宅 ミユキケアハイムみどり（8室）、

ミユキケアハイムかなおい（15室）



多職種連携の会「なせばなる」に参加しました

この会は、上山市に住む要介護者および家族を支える各専門職が、よりよい連携や専門職としての資質向上、顔が見える関係づくりを図ることを目的として毎年開催されております。参加者は行政職員や地域包括支援センター職員はじめ、介護支援専門員、施設相談員、開業医、病院看護師、薬剤師、訪問看護師、医療ソーシャルワーカーなど総勢45名でした。



2/27 介護老人保健施設「みゆきの丘」にて

上山市と包括支援センター職員による「高齢者虐待の現状と課題」の講話を聞いた後、グループトークでは「高齢者虐待はなぜ起きるのか？」をテーマに意見交換や情報交換を行いました。さまざまな角度から参考になる話を聞くことができ大変有意義な時間となりました。今後もこのような機会に積極的に参加をして、上山市民にとって暮らしやすい地域になるよう連携を深めていきたいと思っております。

切れ目のない支援を 多職種による入退院カンファレンス

一般急性期病棟および地域包括ケア病棟では、毎週木曜日に入退院に関するカンファレンスを実施しています。この会議には病棟看護師をはじめ、訪問看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士、事務職員など、多様な専門職が参加し、それぞれの立場から意見を出し合っています。

一人ひとりに寄り添う「退院支援」

退院支援カンファレンスでは、退院先の家屋環境や、ご家族の背景や介護力などの情報を丁寧に共有します。これらに基づき、病状に適した退院先の検討や、患者様・ご家族の希望に寄り添った支援計画を、多角的な視点で検討しています。また、安心して住み慣れた地域で過ごすことができるよう、早期に地域との連携をはかり、切れ目のないケアを実現できるよう努めています。

安心を形にする「入院支援」

また、入院前支援では、入院する前から退院後の生活を見据えた情報の聞き取りを行っています。生活背景や身体状況を事前に把握することで、入院直後からの安全なケアの実施、不安の軽減、そして早期の退院支援へと繋げています。

入院から退院後まで途切れることのない支援を目指し、今後も院内・院外との連携を一層深め、地域に根ざした医療を提供してまいります。



お知らせ

整形外科：千葉医師「完全予約制」について（令和8年4月～）

令和8年4月1日（水）より、整形外科の千葉医師（脊椎・脊髄）の外来診療につきましては、待ち時間の短縮、手術を要する患者様への迅速な対応のため、全ての診療日におきまして「完全予約制」とさせていただきます。初診及び再診、並びに紹介状をお持ちの患者様も同様で、予約がなく当日来院されても原則対応不可とさせていただきます。

つきましては、ご紹介の際は、事前に当院の地域医療連携室を通じて予約をお取りいただきますようお願い申し上げます。各先生方にはお手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

外来予約 FAX 023-673-1523（代表）

令和8年4月からの整形外科新患受付時間の変更について

令和8年4月1日（水）より、整形外科外来の新患（ご予約のない方）の受付時間が以下のとおりになります。十分にご確認のうえ、ご来院くださいますようお願いいたします。

曜日	～3月31日（火）まで	4月1日（水）～
月曜日	～11:00まで	→ ～10:30まで
火曜日	～11:00まで	→ ～10:30まで
水曜日	～11:00まで	※予約の方のみ
木曜日	～11:00まで	→ ～10:30まで
金曜日	～11:00まで	→ ～10:30まで
土曜日	～11:00まで	→ ～11:00まで



※土曜日の外来診療は、今までどおり第2・第4土曜日のみです。

※午前中の新患外来はたいへん込み合う状況が続いております。混雑の具合によっては、受付時間内でも受付を制限または終了せざるを得ない場合がございますので予めご了承ください。

※午後は、これまで通りご予約のある方だけの診療になります。何卒、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

当院地域医療連携室は、医事課職員1名、看護師4名、医療ソーシャルワーカー5名で担当しております。入退院支援室と医療福祉相談課のスタッフが同室で細やかに情報共有しながら業務を行っています。例年、4月、5月は病床に比較的余裕があり、転院のご依頼にもお応えしやすい状況です。ご紹介から入院まで可能な限り迅速にお受け入れができるよう調整を行ないます。

急性期治療後の転院相談や、検査・加療目的の入院など、お困りの症例がございましたら、まずはお気軽に地域医療連携室までお問い合わせください。

- 相談窓口：地域医療連携室 TEL 023-672-8282 FAX 023-673-2561
- 受付時間：平日 9:00～17:00

転院依頼票は当院ホームページよりダウンロードしていただけます。➡

